



大 限 夢

平成27年6月1日(月) vol.9

今日から6月です。日本では、旧暦6月を水無月みなづきと呼びます。水無月の由来には諸説あるようですが、「梅雨で天の水がなくなる月」「田植で水が必要になる月」といった解釈が一般的だそうです。

また、6月は唯一祝日のない月でもあります。アニメ『ドラえもん』で、のび太が6月に祝日がないことに対する不満から、ドラえもんのひみつ道具である「日本標準カレンダー」を使って6月2日を「ぐうたら感謝の日」という架空の祝日を制定したことがあるそうです。笑



「ほろほろ」してみませんか？

「ほろほろ」とは、花びらや葉っぱ、そして涙が静かにこぼれ落ちる様のことをいうそうです。中日新聞の愛知県版で毎週日曜日に掲載されている人気コラム「ほろほろ通信」が、読者の熱望により書籍化されました。題して「ようこそ感動指定席へ」（ごま書房）そこには、ココロが“ほろり”とする100話の感動物語がありました。その中から一つエピソードを紹介したいと思います。

とある病院に入院していた70代の女性の話。
ちょうど花見の時期だった。ある日、嫁に行ったお孫さんがひ孫を連れてお見舞いに来た。お孫さんの手には桜の枝が挿してある花瓶があった。自宅の庭に咲いていたのを少し切って持ってきたという。
女性はベットの从上から花見をしながら、孫の優しい気持ちをしみじみと感じた。
次の日、病室に入ってきた若い看護師が、こんな頼みごとをした。
「その桜を貸してくださいませんか？」
訳を聞くと、「ほかの部屋の患者さんにも見せてあげたいと思ひまして・・・」
女性は、「そうだ、この病院には私のほかにも桜の花を見られない人がたくさんいるんだ。それなのに自分だけ喜んで…恥ずかしい」
しばらくして看護師が戻ってきて言った。
「みなさん、喜んでくれましたよ」
同じフロアの病室を訪ねて、お一人お一人に花瓶の桜を見せて回ったそうだ。忙しさの合間を縫ってこんな気配りをしてくれる看護師がいたことに、女性は胸が熱くなった。

★キラキラ輝く二中生★～5/19(火)の全校集会の話より抜粋～

親から「勉強しなさい」と言われ、みなさんは何と答えますか？そのときの気分によって「はい」と答える人もいれば、「はいはい」と答えておきながらやらない人もいるでしょう。あるいは、聞こえていても聞こえないふりをする人もいるでしょう。つまり、自分が行動をおこすときには、必ずその前には自分と会話をしているわけなのです。1日の中で誰と一番会話をしているかといえば、ほかでもない自分なのです。
だからこそ、その場の状況をよくしようと思えば、自分自身との会話を上手くしていく必要があります。言いかえるならば、「自分の機嫌は自分でとれるようにしましょう」ということなのです。
例えば、友だちとけんかをしたときに、どうして自分のことを分かってくれないのだろう？と怒ってしまいがちです。でもこれを逆の立場で考えてみると、その友だちもまた何で自分のことを分かってくれないのだろう？と同じことを考えているにちがいません。つまり今、目の前でおこっていることというのは自分自身を写し出す鏡と思えばいいのではないのでしょうか。
だから、目の前の人の考えを変えたいと思うならば、まずは自分自身の考え方を変えるしかないということです。 **過去と他人は変えることはできないけれど、未来と自分を変えることができます！**

BEFORE

AFTER



用務員さんに正門の塗装をして頂きました。グレーからダークブラウンに模様替えです！



総体まで
46日

